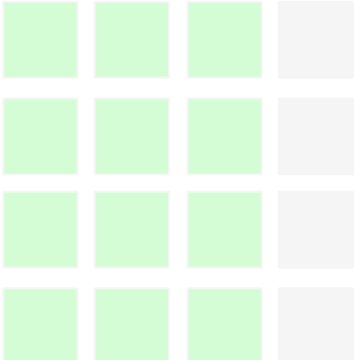


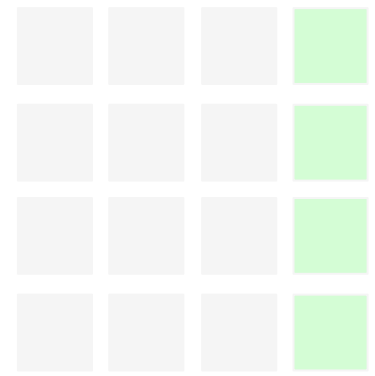
求める人材

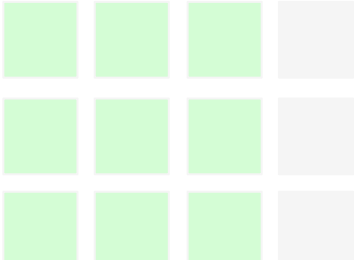


Creating
創る

Enjoying
楽しむ

Floating
変わる



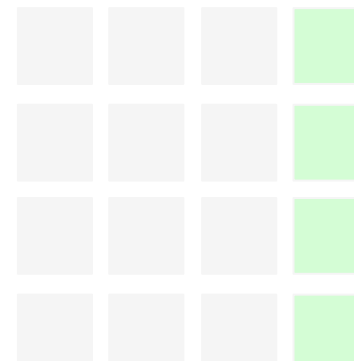


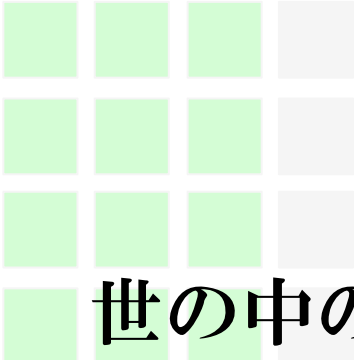
“創る”

社会では、求められることをそのまま実行する能力とともに、自ら創意工夫して職責を遂行する能力もまた必要です。

そこで千葉ゼミは、新しいことを創りたい人材を求めます。

ゼミでは一人ひとりがプレイヤーであり、リーダーでもあります。そこでは、既存の知識を獲得し、かつ、それを深く理解したうえで新たな知識を創造する、という高度に知的な営みが行われています。ゼミの運営においても同様に、常にゼミ生の創造への意欲が試されています。



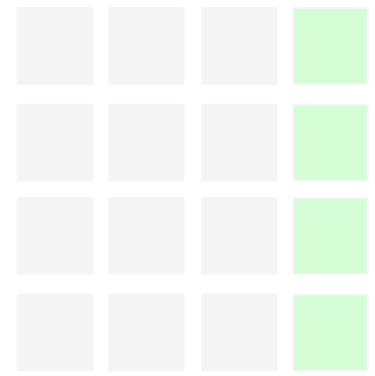


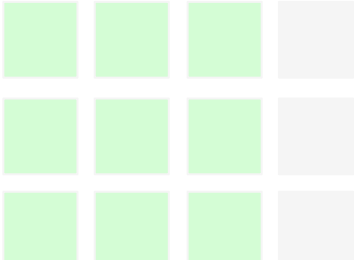
“楽しむ”

世の中のあらゆる大きな仕事は、そのことに関心ある人によって行われ、また、その仕事の9割は地道な作業です。

そこで千葉ゼミは、楽しむことができる人材を求めます。

楽しみながら何かを行うのが意外と難しいのは、楽しむことには、自分を信じる必要があるからです。そして、楽しむことができれば、ラクをしようとしなくなり、たとえば地味で地道な作業でも、熱中できるようになるはずです。



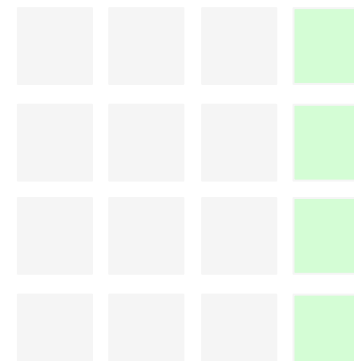


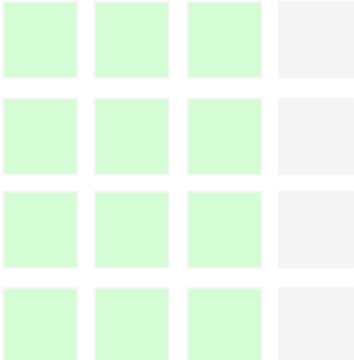
“変わる”

全てのことが不確かなこの世の中であって、一貫しているということは、逆に自身を危険にさらすことにつながります。

そこで千葉ゼミは、常に変わることができる人材を求めます。

全ての知識は不完全であり、全ての人間もまた不完全です。そのことに自覚的であれば、社会やゼミにおける現象・行動の変化に敏感でいつづけることができるはずです。千葉ゼミ特有の「ゆるさ」は、常に変化を受容していきたいという先生の考えに起因しています。





求める人材(非公式)

フットワーク

深夜にガストでSPSS

ツツコミ

先生しょっちゅうボケる

酒

飲みにはガチ

